

学校だより

第6号



令和元年 8月26日 発行
京都府立向日が丘支援学校
京都府長岡京市井ノ内朝日寺11
Tel 075-951-8361 Fax 075-951-8362
<http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms>



2学期の始まりに



暑かった夏休みも終わり、本日から2学期の授業が始まります。

この休業期間には、新聞にも載せていただいたように校門付近のリウゼツランが満開になり、近隣の方がわざわざ車で見に来られる姿を何度も目にしました。府立植物園の方に聞きますと、この花は、20年から50年に一度だけ花を咲かせ、その個体は枯れてしまうという非常に珍しい植物で、欧米では、「センチュリープランツ」（1世紀に1度だけ花を咲かせる）とも呼ばれているそうです。この花をとおして、地域社会の方々と学校の距離がまた少し近くなったようで、嬉しい出来事でした。

そして、この2学期には、児童生徒の姿をとおして地域社会とつながる大切な行事が待っています。昨年度から初めた学校祭「むこうがおかフェスタ」です。11月7日（木）から9日（土）までの三日間開催しますが、その初日は、本校の文部科学省指定研究の「研究報告会」を兼ねて実施します。報告会には、記念講演として、NHKで毎週木曜日20時から放映されている「バリバラ」のチーフ・プロデューサーである、森下光泰様にお話をいただきます。「バリバラ」は、御覧になっている方も多くと思いますが、自らの障害すらも笑いのネタにしてしまう企画「SHOW1グランプリ」に象徴されるように、“障害者”とされている非常に多様な人たちが、その多様性をもって様々なことに挑戦する、これまでにはなかった非常に考えさせられる番組です。

この夏季休業期間には、森下様に本校にお越しいただき、打ち合わせをさせていただく機会があり、そこで話されたことが大変印象的でした。

「昔は、生産性があるということが生きている価値のように考えられていた。生産性や効率化とは違った価値観を自分の中にどれだけ見つけられるのか。自分の中にたくさんの物差しを持っていれば、誰もが生きやすくなれる。」

当日のお話が今から非常に楽しみです。

2学期も、本校で学ぶ多様な児童生徒の可能性を育み、その成長を保護者の方々、地域社会の方々とともに喜び合える学校として歩んで参ります。

引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

京都府立向日が丘支援学校

校長 平岡 克也



第24回ふれあい・心のステーション

～自立と社会参加を目指して～

今年も大丸京都店にて「ふれあい・心のステーション」が開催されます。本校からもたくさんの窯業製品、布・皮革製品、竹・木工製品等を出品しますので、是非お誘い合わせの上、御来場、お買い求めください。

場所：大丸京都店7階 催会場 入場無料

日時：令和元年9月4日（水） 12：00～20：00

9月5日（木） 10：00～15：00

※両日とも生徒の販売は15：00までです。

